



ラグビーワールドカップ視察

朝夕めつきり寒くなりましたが、皆さんいかがお過ごしですか。

私は八月末に台湾視察を終え、九月には定例県議会開会、県民体育祭、四十歳以上軟式野球の部に出場、おくんちまつりの準備、そしてラグビーワールドカップ視察のためイングランド訪問、宮城県女川町視察など充実した日々を過ごしております。

特に、イングランドでは世界王者のニュージーランド対トンガの試合や日本対アメリカの試合も観戦することができました。

エディージャパンのまさに日本の歴史を塗り替える闘いは見事でした。

選手たちの鍛えられた肉体、相手を恐れない低いタックル、ひたすら前へ進むうとする姿勢、チームワークを活かした多彩なパス回し、五郎丸選手のパフォーマンスと正確なキック、一つのアタックに参加して相手に絞らせず、前進し続ける日本代表の姿に感動しました。



7月20日/自民党宮城県連

いよいよ二〇一九年は日本開催です。熊本も開催会場の一つに選ばれています。

日本代表の活躍を大いに期待すると共に、世界中から多くの方々が日本を訪れることが予想されていますので、おもてなしの体制を整え、大きな経済効果が得られるように準備し、国内外の皆様には大きな感動を与えることができるように取り組みを進めていきたいと考えています。

海外をはじめ熊本以外の場所に行つて初めて熊本の良さを実感することができそうです。

色々な刺激、体験を球磨人吉の発展にも是非、活かしていけるように頑張りたいと思います。

今後ともご指導よろしく申し上げます。

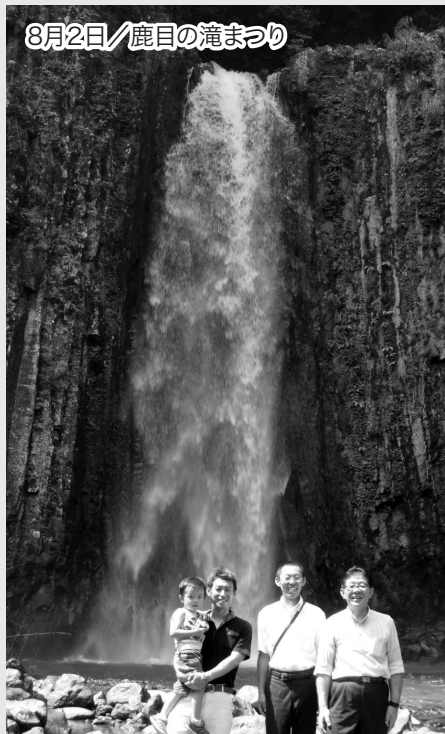
世界に感動を！

くまもとの良さ・球磨人吉の素晴らしさを世界へ！



活動 Photo ライブラリー

8月2日/鹿目の滝まつり



8月5日/氷天宮まつり



8月13日/夏越まつり(青井阿蘇神社)



8月11日/ゆうれいまつり



7月23日/上永野町薬師堂夏祭り



7月29日/くま中央森林組合 通常総会

祝 平成27年度 西間下町敬老会



9月21日/敬老会(下青井町・駒井田町・西間下町)

▼編集後記

日本中を感動の渦に巻き込んだラグビーW杯の日本代表。躍進の背景にはエディ・ジョーンズヘッドコーチという優れたリーダーの存在がある。チームを変えた最大の要因は「意識改革」だろう。日本人には謙譲の美德があるがスポーツやビジネスにおいて控えめな態度はマイナスに働きかねない。結果の価値を決めるのは本人ではなく周りである。だとすればリーダーは「トライすることに価値がある」との一言とともに背中を押すべきである。「成功したことがないから諦める」のではなく、「まだ達成していないからやってみる」という外国人の前向きな精神性には見習うものがある。まちづくりも然りである。<K.T>

この会報のお問合せは

溝口幸治事務所

人吉市駒井田町1952-34

tel 0966-22-5800

fax 0966-22-5802

http://www.k-mizoguchi.com

E-mail:office@k-mizoguchi.com



発行 溝口幸治事務所
記載責任者 富山孝治

みぞぐち幸治後援会 所在地

ACCESS MAP



台湾研修報告

台湾との友好の絆

平成二十七年八月十七日から二十一日まで自民党青年局の同志と共に台湾を訪問しました。

馬英九總統、王金平立法委員長、次の總統に一番近いと言われている蔡英文民進党主席、朱立倫国民党国家主席、十月二十五日から熊本との定期便が実現した高雄市の陳菊市長、康裕成市議會議長などを表敬訪問し意見交換を行いました。



蔡英文民進党主席と牧原青年局長代理



高雄市の陳菊市長

今回の訪問を通して、我が国にとって台湾は、自由、民主主義、基本的人権、法の支配といった基本的価値を共有し、緊密な経済関係と人的往来を有する重要なパートナーであり、大切な友人であることを再認識しました。

今後もこの経験を活かし台湾との友好の絆を深めて行きます。

印象的だったのは台湾高座会の皆さんとの懇談は以下の

通りです。

※台湾高座会とは昭和十七年当時、若年労働者として台湾学生が日本各地の航空機製造現場で日本海軍の航空機の製造・整備を実施。敗戦により八千四百名の台湾少年工は帰国。

現在は平均年齢八十七歳。



『日本人として生まれ、日本人として育ち、終戦後突然中華民国国民になり、外から来た中国人が同胞を虐殺し、日本を愛し日本とつながっていたいのに国交は断絶され、大戦後唯一独立できなかった国が台湾、そして我々戦前生まれの台湾人である』

『日本の教育は厳しかったが愛

情溢れる素晴らしいものだった。特に修身の授業だ。修身教育で教わったことが人間として生きる基本となっている』

『日本が統治した時代は台湾の治安が良くなり、日本人として教育された世代の犯罪率は低い』

『日本は台湾のインフラを整備し、教育を与えてくれた』

『中国や韓国の顔色ばかり窺って、なぜ政治家が堂々と靖国神社を参拝できないのか』

『日本人であったことを誇りに思っている』

『敗戦国民から一瞬にして戦勝国民に変わり、どんなにいいことがあるのかと思っていたが、日本統治時代の方がよほどよかった』



ラグビーワールドカップ2016イングランド大会視察調査報告

平成二十七年十月八日から十三日までイングランドを訪問。主な視察都市はイングランド北東部の熊本市と類似のニューカッスル、イングランド内で三〜四番目に大きな都市と言われ、都市人口と会場規模が類似のリーズ、立地条件が類似のグロスター、ラグビー発祥の地ラグビー市。

イングランド特有のことかもしれないが歴史的な建造物も多く、保存活用する法律や条例も制定されている関係からか都市装飾、案内表示等が必要



Richard Doddラグビー市市長

最小限に、そして限られた場所に限定。

ボランティアの皆さんが日の丸を振って声をかけてくれたのは嬉しかった。

スタジアムは試合会場、ファンゾーンは日本で言えばお祭りイベント会場。

ファンゾーンには巨大なスクリーンが設置してあり、ビール等を飲みながら観戦できるような設備。



子供や大人がラグビーを体験するコーナーも設置。

ただ、日本では考えられないぐらいゴミの散乱が目立った。

この点は日本とは文化の違いがあるので、日本開催の時にどう対応するのかは十分に検討が必要。

●熊本開催の課題

今回の類似都市、スタジアム視察、スタジアムとファンゾーンとの関係、連携、今後の活用を考えれば熊本のスタジアム改修が必ずしも必要だとは感じなかった。

ファンゾーンは基本理念を決め最低二か所の設置を検討する必要がある。

一ヶ所は試合会場に隣接して設置。もう一ヶ所は熊本市内、熊本城周辺に設置。



●熊本市以外での取り組み

海外からの宿泊等の問い合わせにいかに対応するか。

宿泊は熊本市内以外でも十分検討できる。

試合が無い日に観光にでかける人が多数いる可能性あり。

サイトの立ち上げ、試合会場までのアクセス、簡易チャックイン、荷物預かり等を検討する必要がある。



キャンプ誘致は市町村で対応することが必要。

今回、いくつかの自治体が既にキャンプ誘致で活動していることが判明。

市町村へキャンプ誘致、宿泊の可能性など情報提供が県の役割。